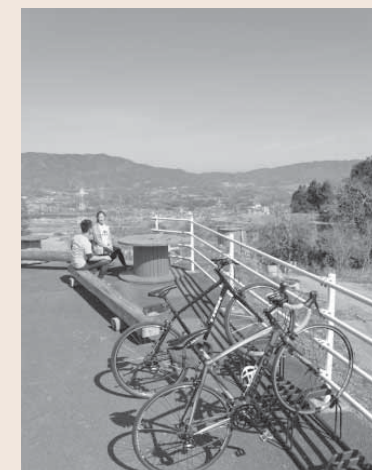


目次 CONTENTS

- 3 特集 市民協働特集
- 6 特集 令和4年度 当初予算
- 10 特集 職員給与を公表します
- 12 情報ワイド
 - ▶ 気候非常事態宣言
 - ▶ ふるさと納税返礼品協力事業者募集
 - ▶ パートナーシップ宣誓制度
 - ▶ 令和4年度がん検診 など
- 20 情報ひろば
- 28 タウン情報
- 29 子育てぱーく
- 30 本のひろば
- 31 健康カレンダー
- 32 フォトトピックス

今月の表紙



くにぎ広場の見晴らし抜群の高台で、サイクリングの一休みをする夫婦。心地よい春の陽気と絶景に心が癒されます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今月号に掲載している催しなどは中止または延期となる場合があります。また、公共施設についても休止する場合があります。詳しくは、市ホームページなどをご確認ください。

今月のかけ橋人
ささえ愛 × 橋本人



ささえ愛 高野口 会長
ひろおか けいぞう
廣岡 慶三さん（高野口町名倉）

高野口地域の第2層協議体として、高齢者のちょっとした困り事をお手伝いする「ささえ愛高野口」の活動を昨年2月から始めました。お手伝いに何うと、とても喜んでくれて「ありがとう、また頼むわよ」と言ってもらえることが何よりもうれしく、活動の原動力になっています。もっと多くの人に利用してもらえるように、活動を広げていきたいと考えています。今後「ささえ愛 高野口」のような助け合い活動が市内全域に広がっていくことを願っています。高野口地域にお住まいで困り事がある人は、いつでも声をかけてください。

市民協働特集

まちの未来を
みんなで担うための

7つの質問



市民が幸せに暮らし、
住んでよかったと
思えるまちに

市では、まちづくりの基本的なルールなどを定めた「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例（以下、はぐくむ条例）」のもと、「協働のまちづくり」を進めています。

はぐくむ条例は、まちづくりを進めるための柱として、実効性のある条例となるよう、必要に応じて見直しを行なっています。

今回の特集記事は、橋本市と共にはぐくむ条例の検討やPR活動を行なっている「はぐくむ委員会」の皆さんが書いてくれました。

【政策企画課】

ある日の午後

他県から移住してきたワーキングママの橋本^{はしもと}柿^{かき}子^こさんは、会社員の夫5歳と10歳の子どもと暮らしています。最近、少子高齢化、財政破綻、消滅都市などの用語を聞くようになり…。

橋本市の未来が
なんとなく心配に
なってきたわ…

質問者
橋本柿子さん



そこで、はぐくむ委員会の頼れる先輩スタッフ、友造^{ともぞう}さんと育代^{よくしろ}さんが登場。

あなたの不安や疑問にはぐくむ委員がお答えします！

回答者
はぐくむ委員
友造さん、育代さん

